研究助成の概要. I

① 地盤構造物の耐荷・耐久性能評価の精緻化のための調査・施工情報の活用方法に関する研究

② 国立大学法人 富山大学 学術研究部都市デザイン学系 都市・交通デザイン学科

③ 准教授　河野 哲也

④ https://researchmap.jp/tk1556

1. 研究分野及び題目

（I － 3）その他の道路 DX に該当するテーマ

2. キーワード

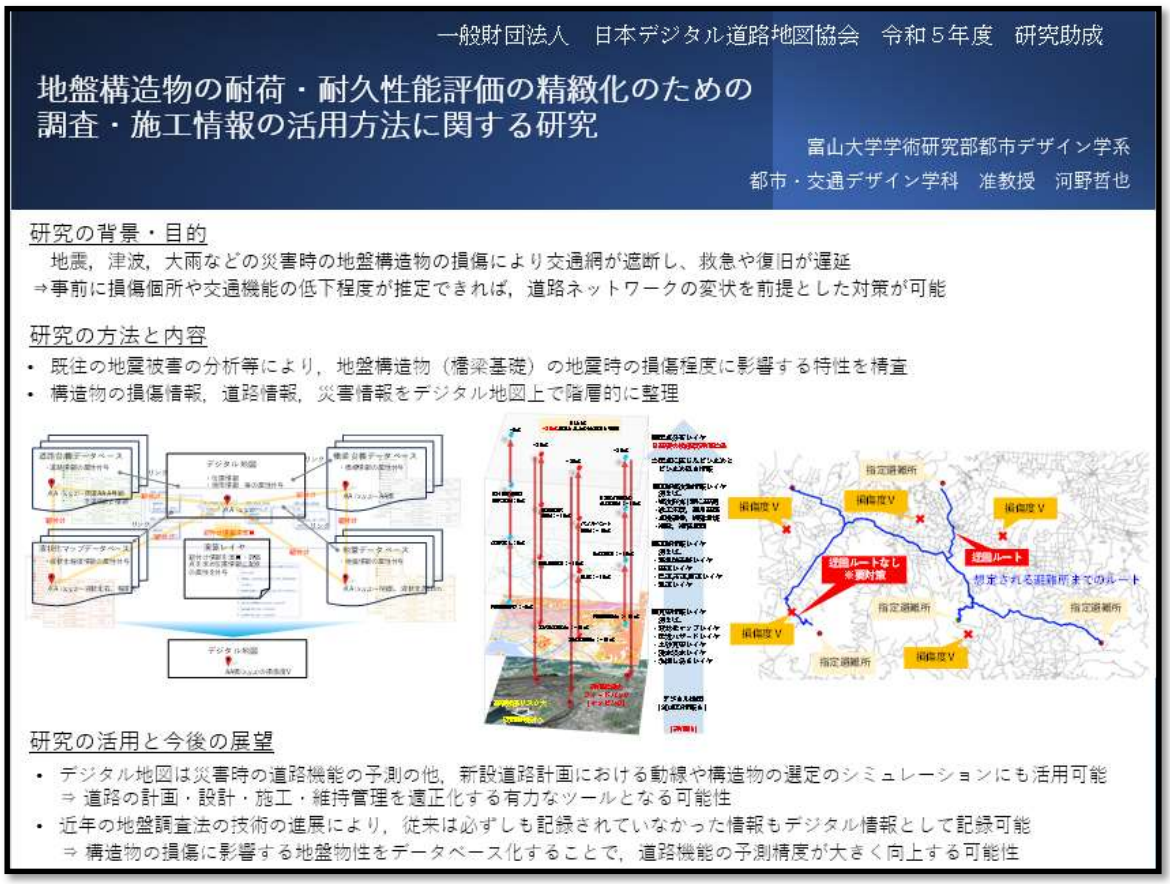
耐久性能，アセットマネジメント，アーカイブ化，地盤構造物（道路橋基礎，土工構造物），地盤情報，調査・施工精度

3. 研究内容

(1) 研究の目的

調査・施工精度は、構造物の耐荷性能だけでなく耐久性能にも影響すると考えられる。そのため、供用期間末まで確実に保存し、供用期間中の性能評価に適切に反映する必要があるが、現状はそのような活用を想定した保存・記録体系となっていない。

本研究では、調査・施工時の情報のアーカイブ化について DX 環境との連携と活用およびその将来性に着目して方法論を検討するとともに、地盤構造物の性能評価の精緻化の可能性を示す。

(2) 研究のゴール

調査・施工時に得られる情報の有無や量、精度によって、供用期間中の構造物の性能評価の方法や精度がどのように異なるかを示す。具体的には、従来の情報保存方法・体系では困難であった性能評価が、調査・施工時の情報を用いることで可能になる。もしくは評価精度が改善されることなど、調査・施工時情報の活用方法の例や情報のアーカイブ化の有用性を示す。またその活用のための DX 環境との紐付け方法を提案する。